



メディキット株式会社

**第41期（2024年3月期）
決算説明会**

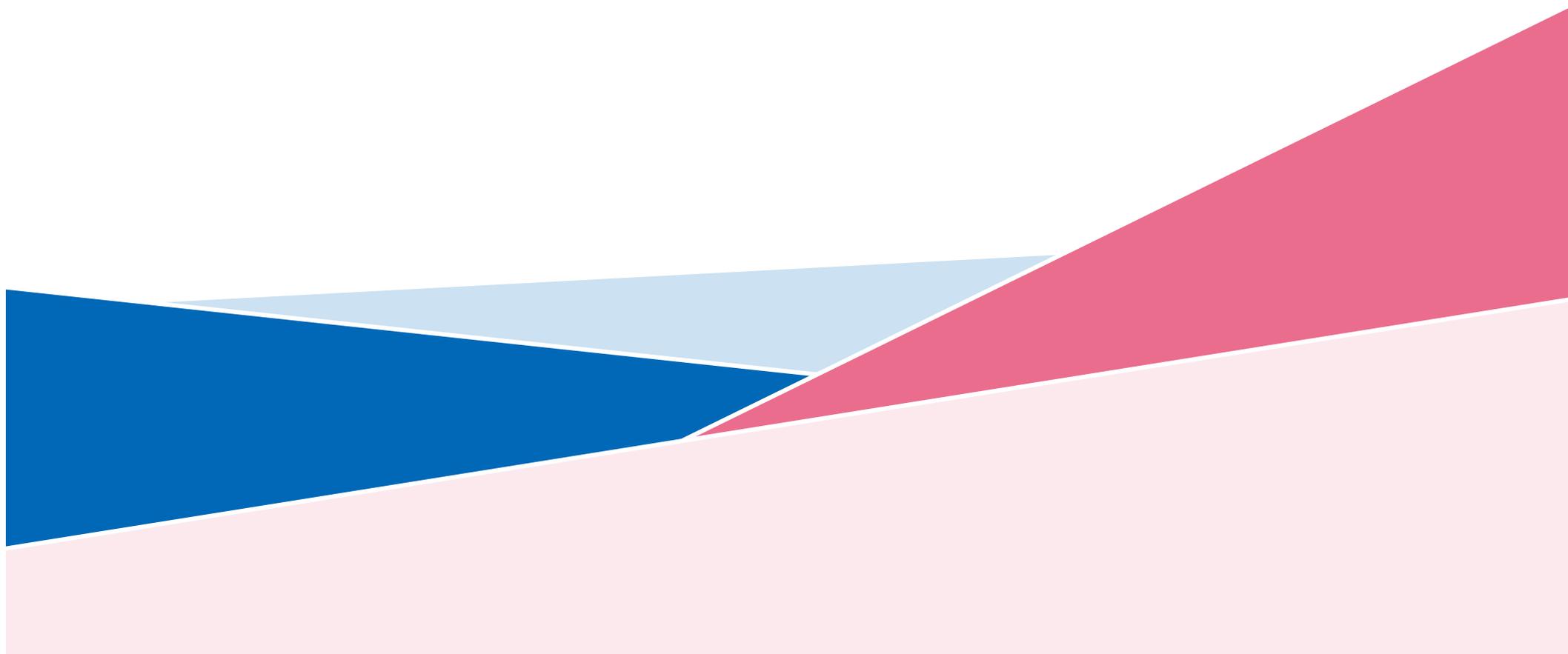
2024年5月24日

証券コード：7749

I. 事業の概要

II. 2024年3月期 実績

III. 2025年3月期 計画（含中計）



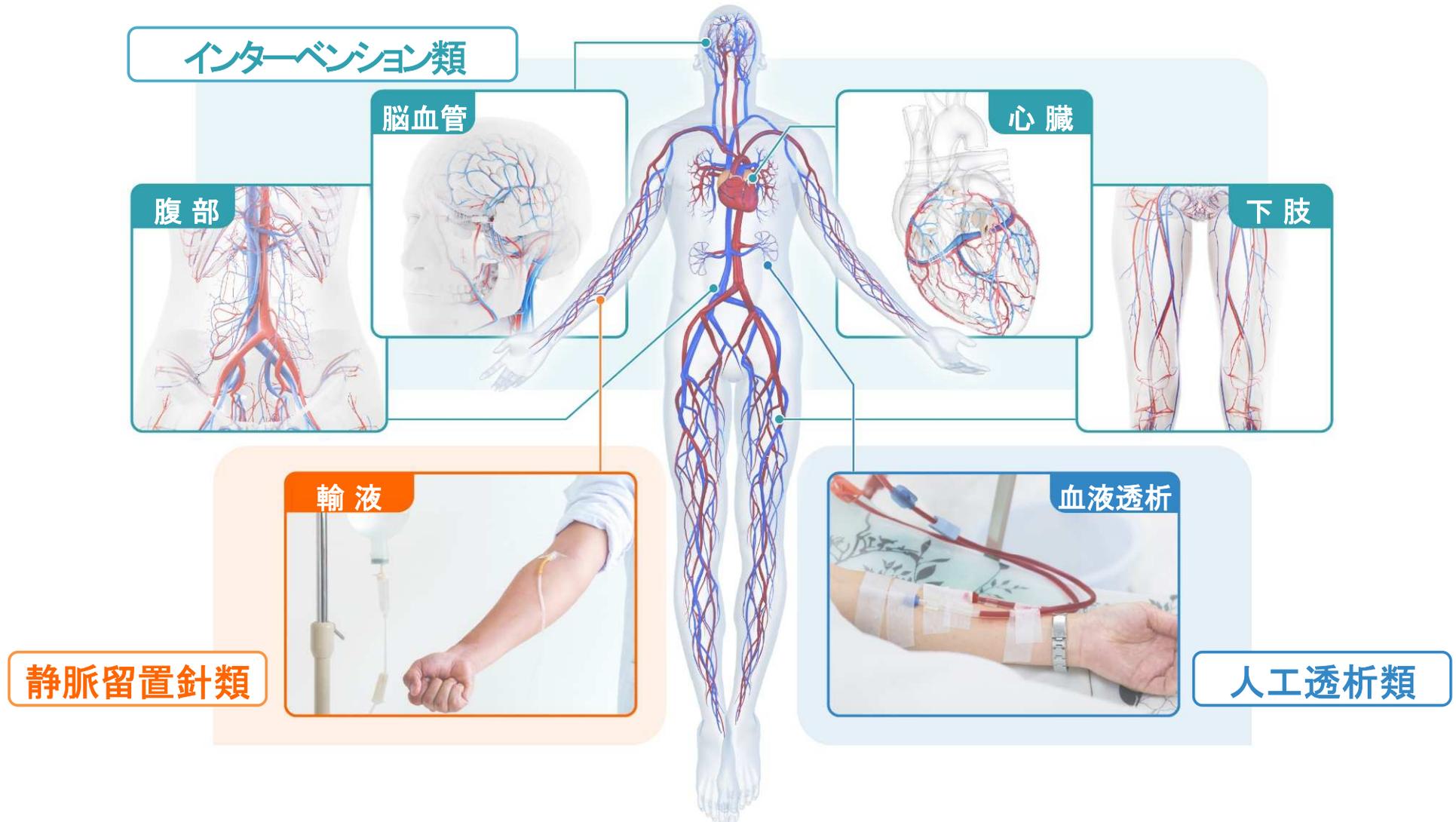
I. 事業の概要 会社概要

社名	メディキット株式会社
事業内容	医療機器の開発・製造・販売
連結子会社	東郷メディキット(株) Medikit Vietnam Co., Ltd. 株式会社Bolt Medical
工場	日向工場、日向第二工場、東郷工場（宮崎）、 佐倉工場（千葉）、ベトナム工場（ハイフォン市）
営業所	東京、札幌、仙台、埼玉、千葉、横浜、八王子、 名古屋、金沢、京都、関西、神戸、広島、松山、 福岡、宮崎の全国16営業所
海外販売拠点	Medikit Europe GmbH(ドイツ フランクフルト市)
研修施設	Tokyo Education Center (TEC)
従業員数	177名（単体）、966名（連結） （2024年3月末 現在）

I. 事業の概要 主な事業内容

- 当社の事業領域は、血管・血液に関する医療機器を開発・製造・販売

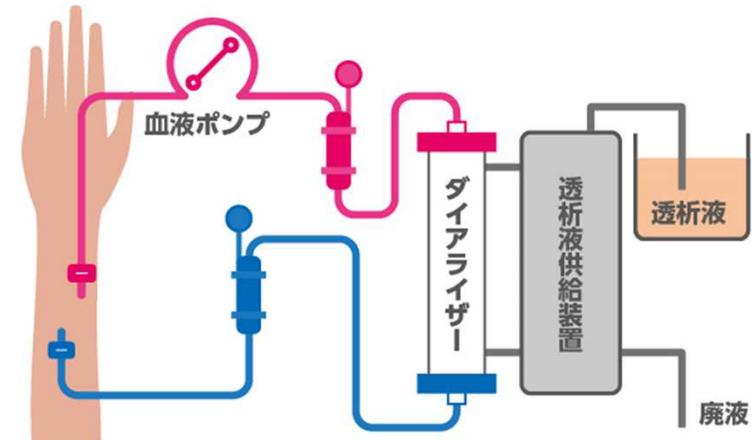
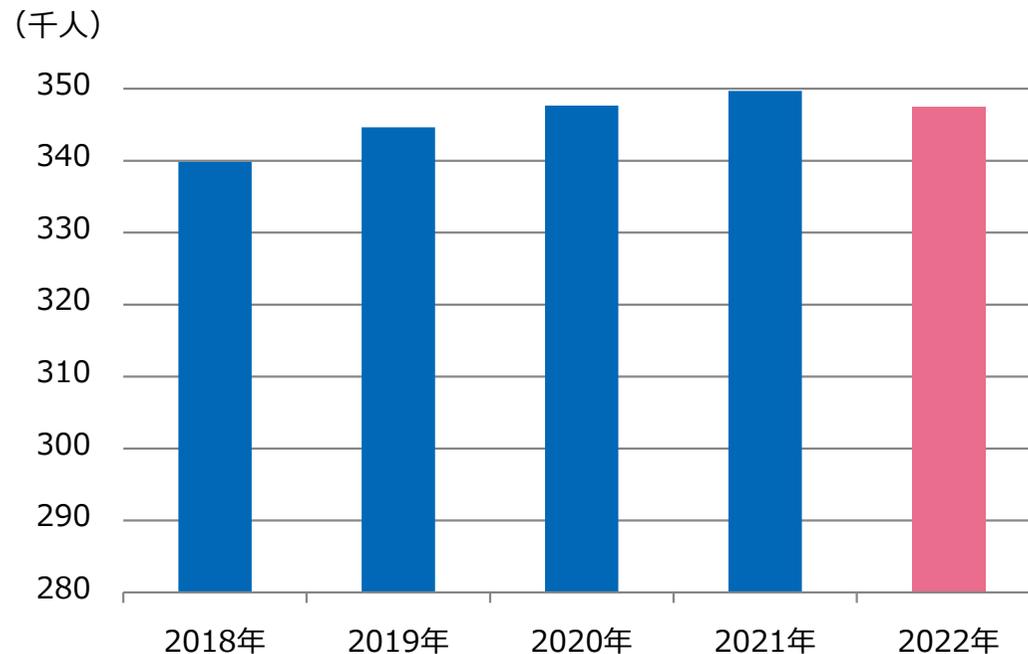
メディキット製品の使用されるフィールド



I. 事業の概要 人工透析類

■ 人工透析患者数、34万7千人
(前年比 - 0.6%) (2022年12月末現在)

■ 患者数は微減



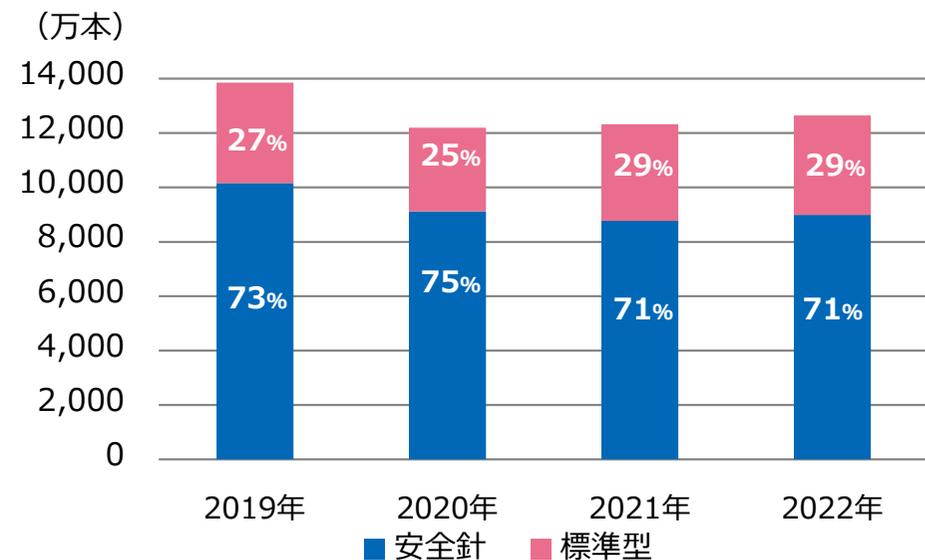
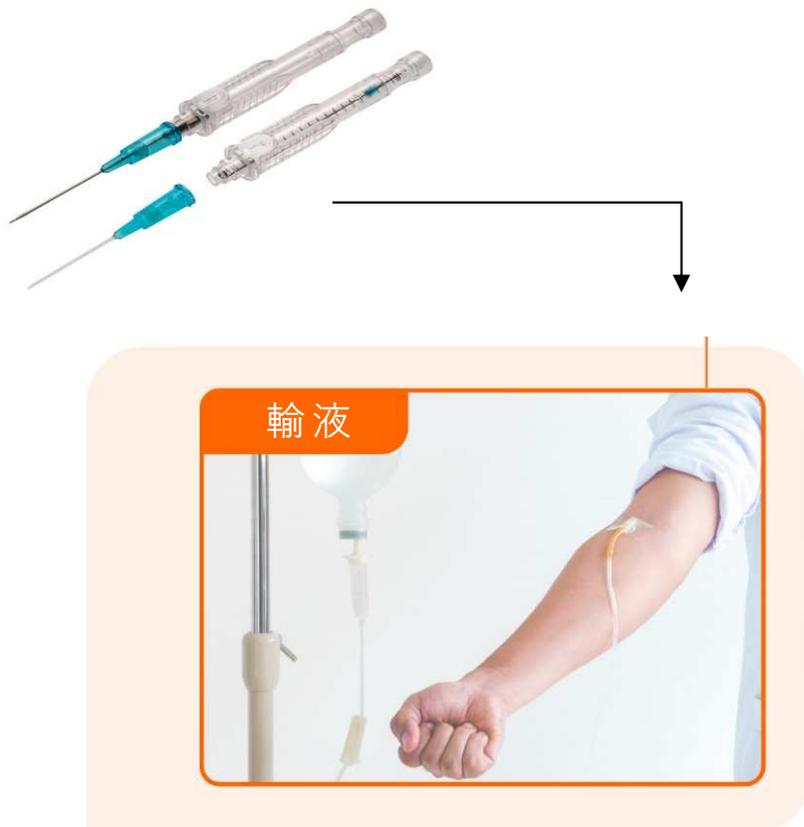
■ 人工透析を行うには、留置針、血液回路、透析器（ダイアライザー）の3点が必要で、当社は留置針を提供しています。

■ 特定保険医療材料の対象となるのは、透析器（ダイアライザー）のみです。

I. 事業の概要 静脈留置針類

■ 静脈留置針は、長時間の輸液・輸血等の注入に使用します。主に、栄養補給等の目的で輸液を末梢静脈経由で投与する際に使用します。

■ 国内の年間使用数量は、約1億2,600万本と推計され、標準型（ノンセーフティ）と安全針（セーフティ）の2種類があります。使用比率はおおよそ29：71と推計しており、マーケット規模は回復傾向にあります。



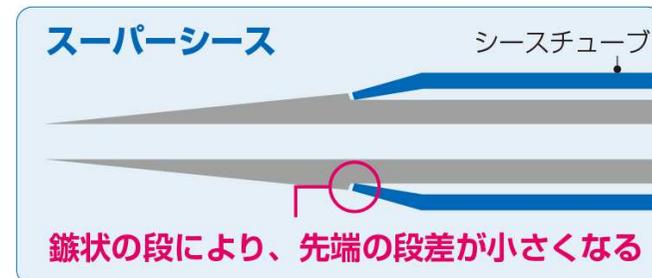
I. 事業の概要 インターベンション類

■ カテーテルを用いた血管内治療をインターベンションと呼んでいます。当社は、カテーテルイントロデューサー（カテーテルを血管に入れるための器具）や血管造影用・血管内治療用のカテーテルを提供しています。主に心臓、脳、肝臓等の部位の病気に対して広く応用されています。

■ 1986年にはインターベンションの分野に進出しました。カテーテルイントロデューサー及び血管造影用カテーテルを開発し、特にスーパーシース（左下図）の開発によりインターベンション製品分野で大きく飛躍しました。

シースイントロデューサー

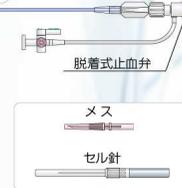
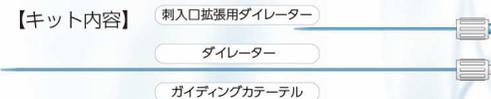
スーパーシース®



末梢用ガイディングシースキット

Parent Plus®

Medikit Peripheral Guiding Sheath Kit



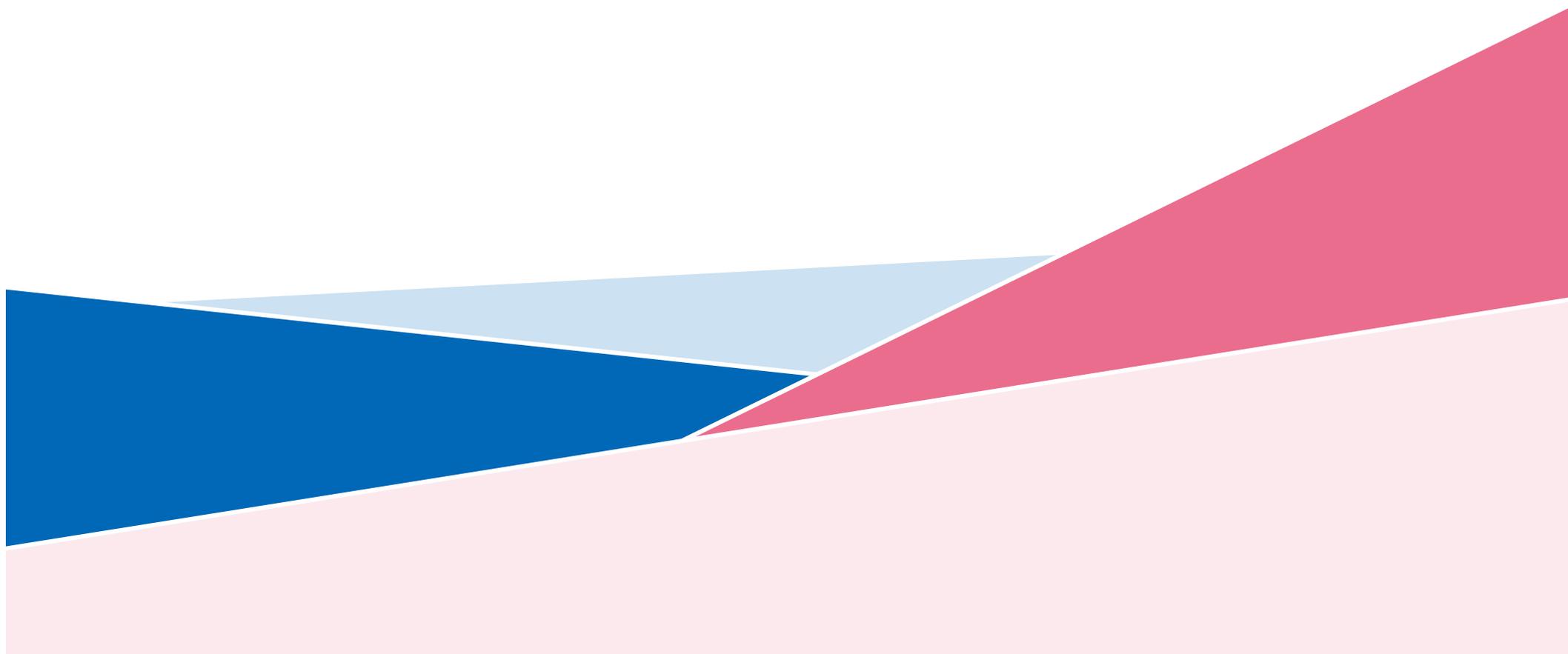
ガイディングカテーテル先端



I. 事業の概要

II. 2024年3月期 実績

III. 2025年3月期 計画（含中計）



Ⅱ. 業績ハイライト

- 売上高については、海外における事業拡大が継続事業からの売上成長を牽引。石灰化病変治療デバイス関連事業の販売終了がマイナス要因も、当該事業を除く継続事業ベースでは前年比で8.4%の成長を達成
- 生産性向上および販管費の抑制効果もあり、EBITDAは売上高以上の成長を実現
- 自己株式取得を含めた総還元性向は196%と、積極的な株主還元を実施

<p>継続事業売上高⁽¹⁾ (百万円)</p> <p>21,775</p> <p>前年比 +8.4%</p>	<p>海外売上高 (百万円)</p> <p>3,198</p> <p>前年比 +24.4%</p>	<p>EBITDA⁽²⁾ (百万円)</p> <p>6,222</p> <p>前年比 14.3%</p>
<p>営業利益 (百万円)</p> <p>4,677</p> <p>前年比 13.6%</p>	<p>一株当たり配当金</p> <p>80円 (前年比10円増配⁽³⁾)</p> <p>配当性向 42.6%</p>	<p>自己株式取得 (百万円)</p> <p>4,776 (発行済株式の10.59%)</p> <p>総還元性向 196%</p>

(1) FY24/3に独占販売が終了した石灰化病変治療デバイス関連の売上高を除く

(2) 営業利益+減価償却費+のれん償却費

(3) FY23/3の普通配当を基準とした場合(50周年記念配当30円を除く)

(4) 自己株式消却前の18,880,000株で計算

Ⅱ. 2024年3月期 連結損益計算書

- 売上高については、FY23/3にて石灰化病変治療デバイス関連の独占販売が終了した影響があったが、当該事業を除く継続事業ベースでは前年比8.4%の成長を達成
- 原材料価格や輸送費が高騰するも、プロダクトミックスの改善や販管費抑制が功を奏し、各利益について前年比、計画比ともに大きく上振れる結果となった

(単位：百万円、%)

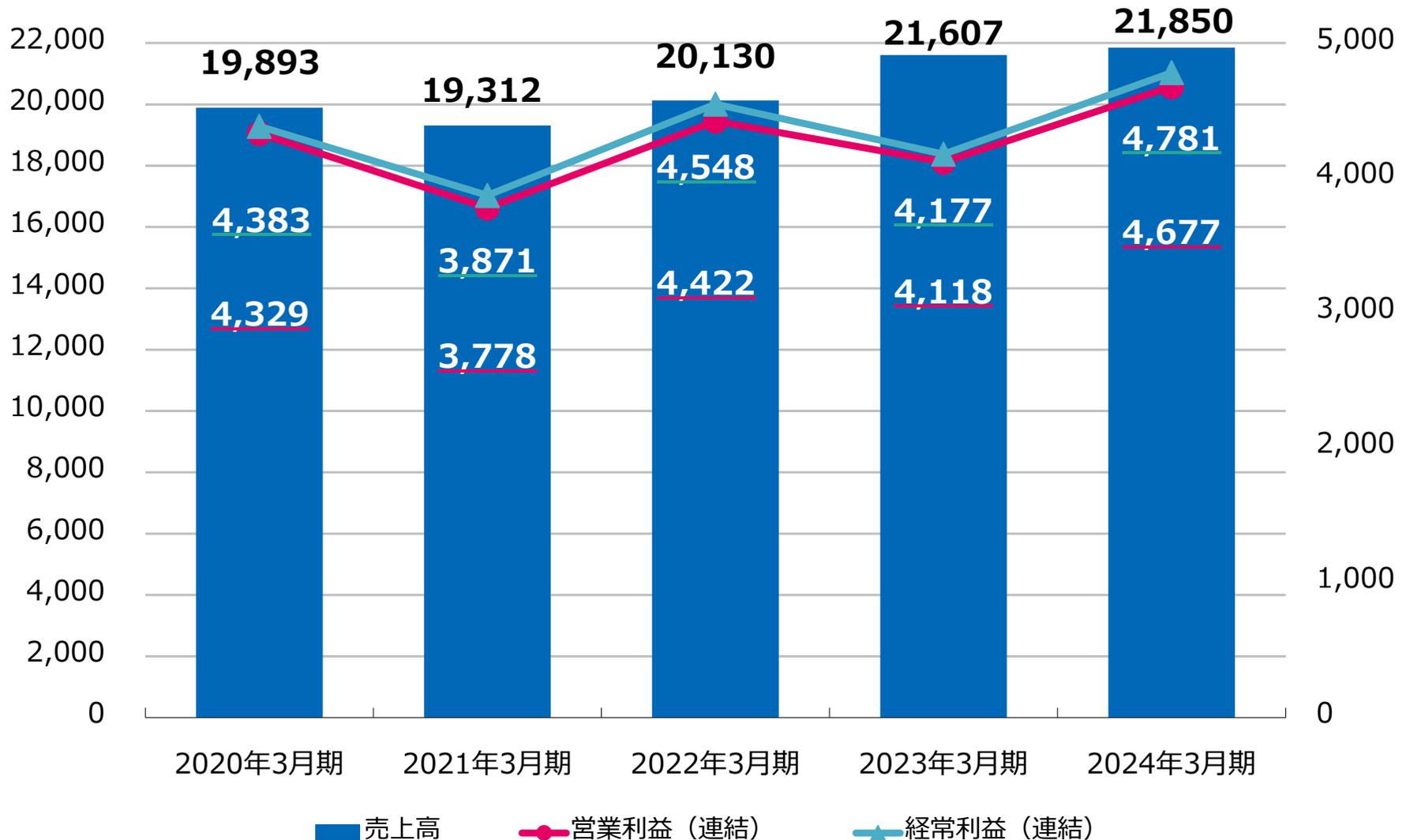
	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画値	2024年3月期 実績	前年比	計画比
売上高	21,607	21,000	21,850	+1.1	+4.0
うち継続事業	20,083	20,995	21,775	+8.4	+3.7
うち非継続事業	1,524	5	74	-	-
売上総利益	8,319	8,358	8,752	+5.2	+4.7
EBITDA	5,441	-	6,222	+14.3	-
営業利益	4,118	4,056	4,677	+13.6	+15.3
経常利益	4,177	4,092	4,781	+14.5	+16.8
当期純利益	2,864	2,578	3,069	+7.2	+19.0



Ⅱ. 2024年3月期 連結業績の推移

売上高（百万円）

営業・経常利益（百万円）



Ⅱ. 2024年3月期 連結貸借対照表

2024年3月期 連結貸借対照表ハイライト

(単位：百万円、%)

	2023年3月期		2024年3月期		前年度末比
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産合計	38,176	71.8	34,491	67.6	▲9.7
固定資産合計	15,010	28.2	16,508	32.4	+10.0
資産合計	53,186	100.0	50,999	100.0	▲4.1
負債合計	5,894	11.1	6,870	13.5	+16.6
純資産合計	47,291	88.9	44,128	86.5	▲6.7
負債及び純資産合計	53,186	100.0	50,999	100.0	▲4.1



Ⅱ. 2024年3月期 連結キャッシュ・フロー

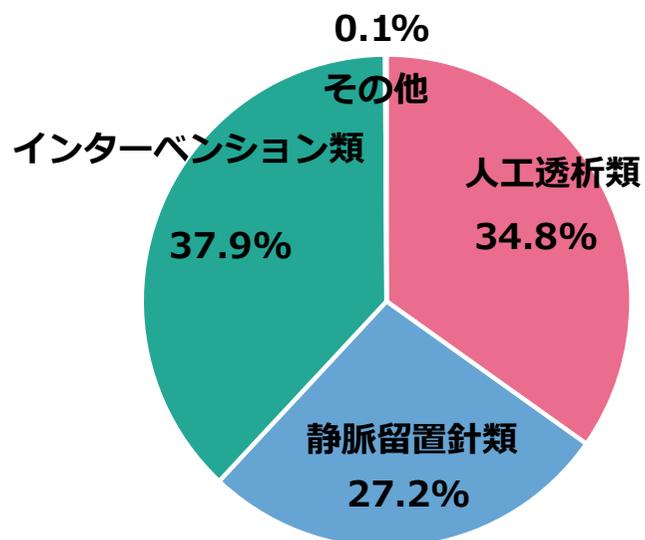
(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,480	4,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,582	3,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,509	▲6,584
現金及び現金同等物 期末残高	17,592	19,111

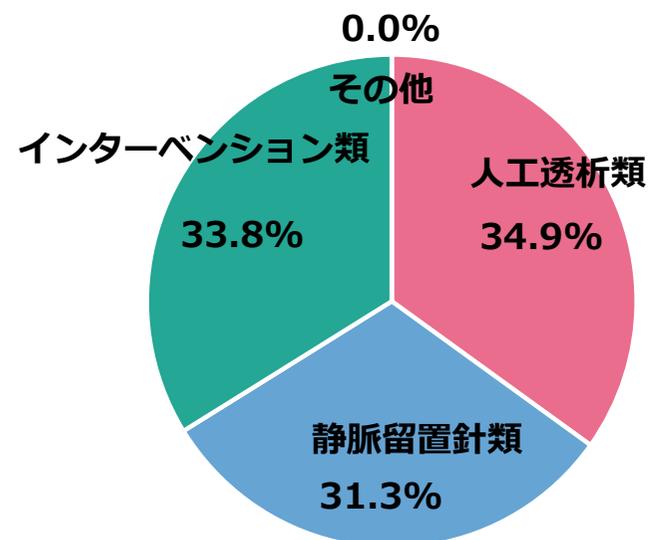


Ⅱ. 2024年3月期 品目別売上構成

2023年3月期 売上構成



2024年3月期 売上構成



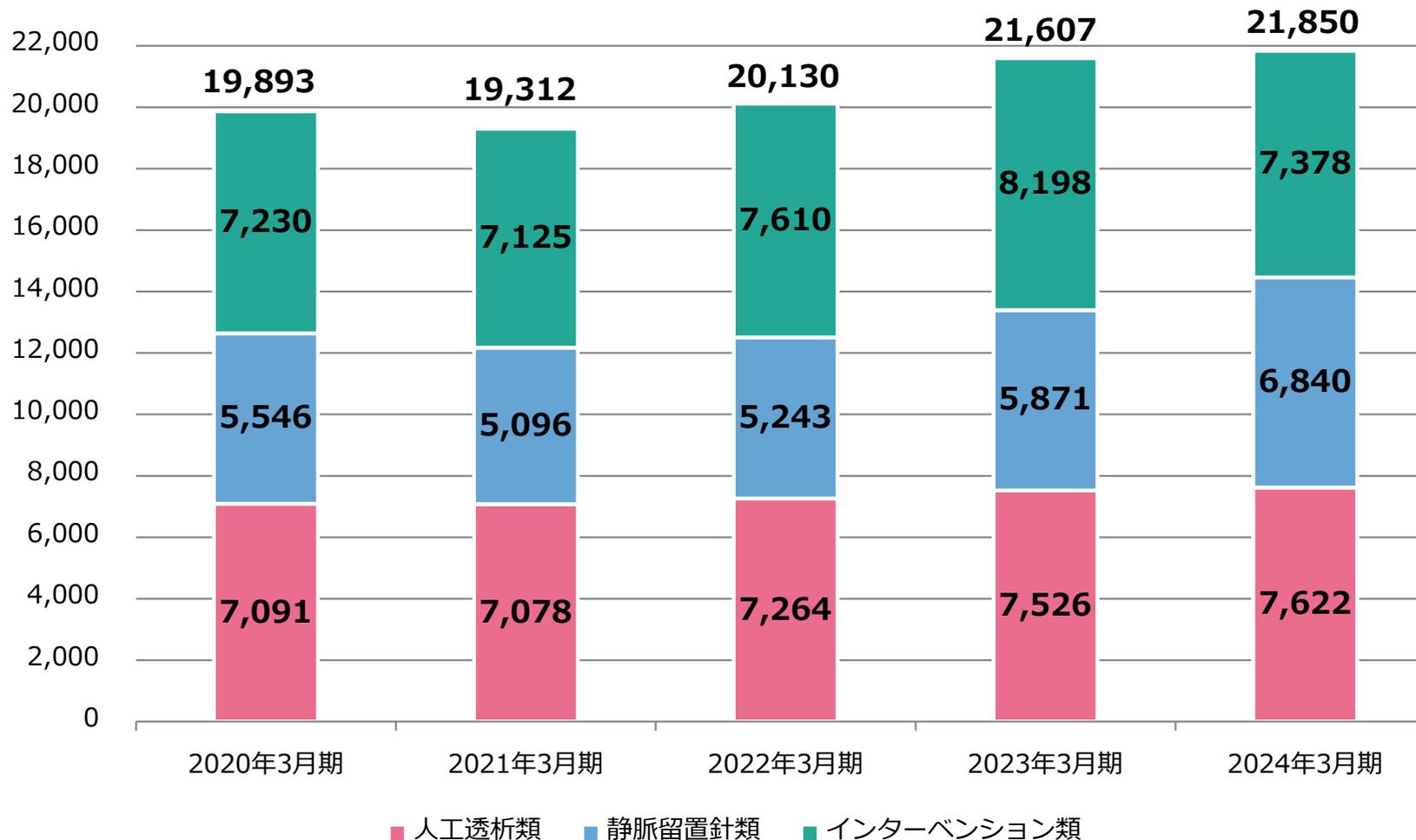
(単位：百万円、%)

品目区分	2023年3月期	2024年3月期	増減率
■ 人工透析類	7,526	7,622	+1.3
■ 静脈留置針類	5,871	6,840	+16.5
■ インターベンション類	8,198	7,378	▲10.0
(うち石灰化病変関連)	(1,524)	(74)	▲95.1
■ その他	11	9	▲15.7



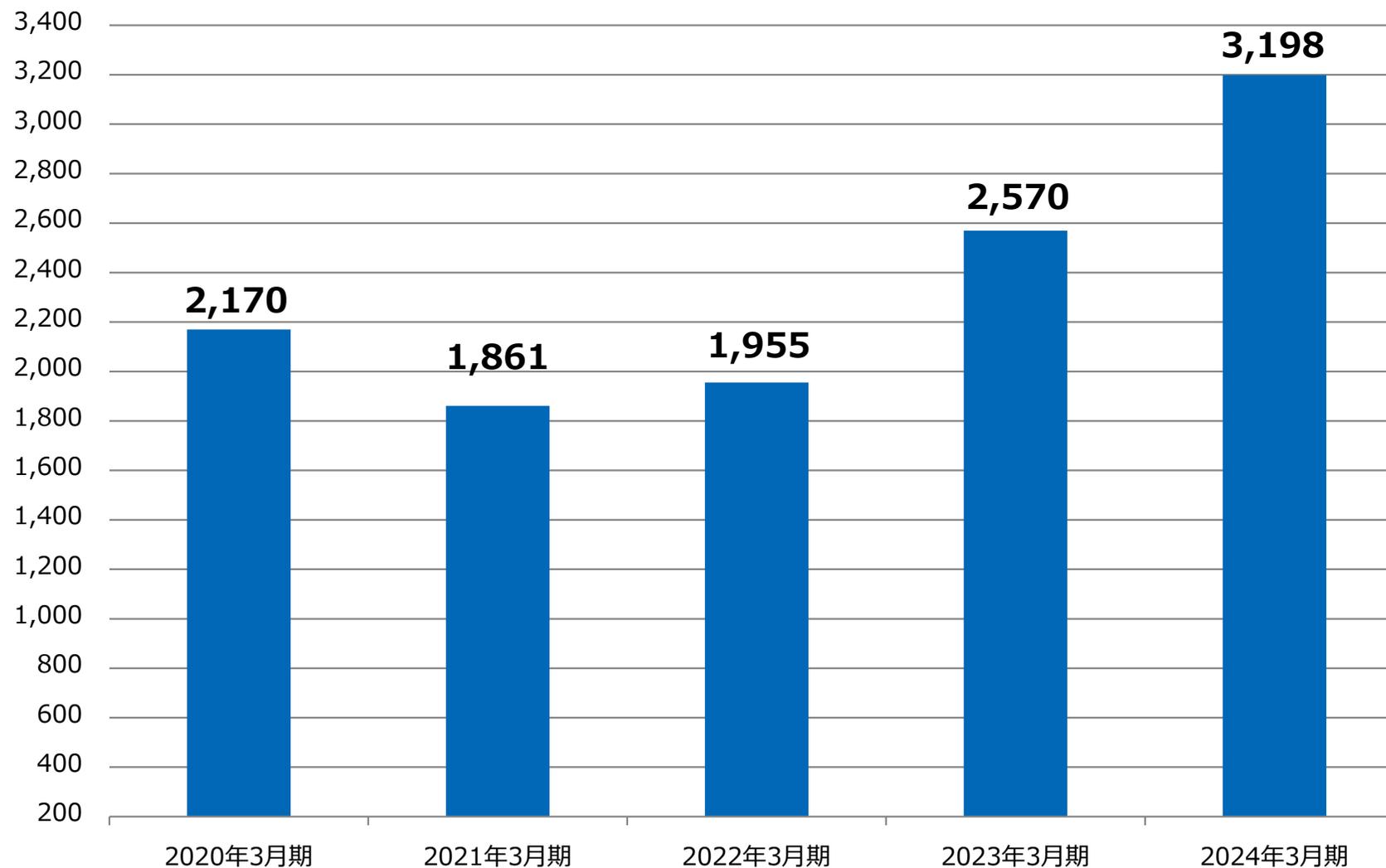
Ⅱ. 2024年3月期 品目別売上推移

(単位：百万円)



Ⅱ. 2024年3月期 海外売上の推移

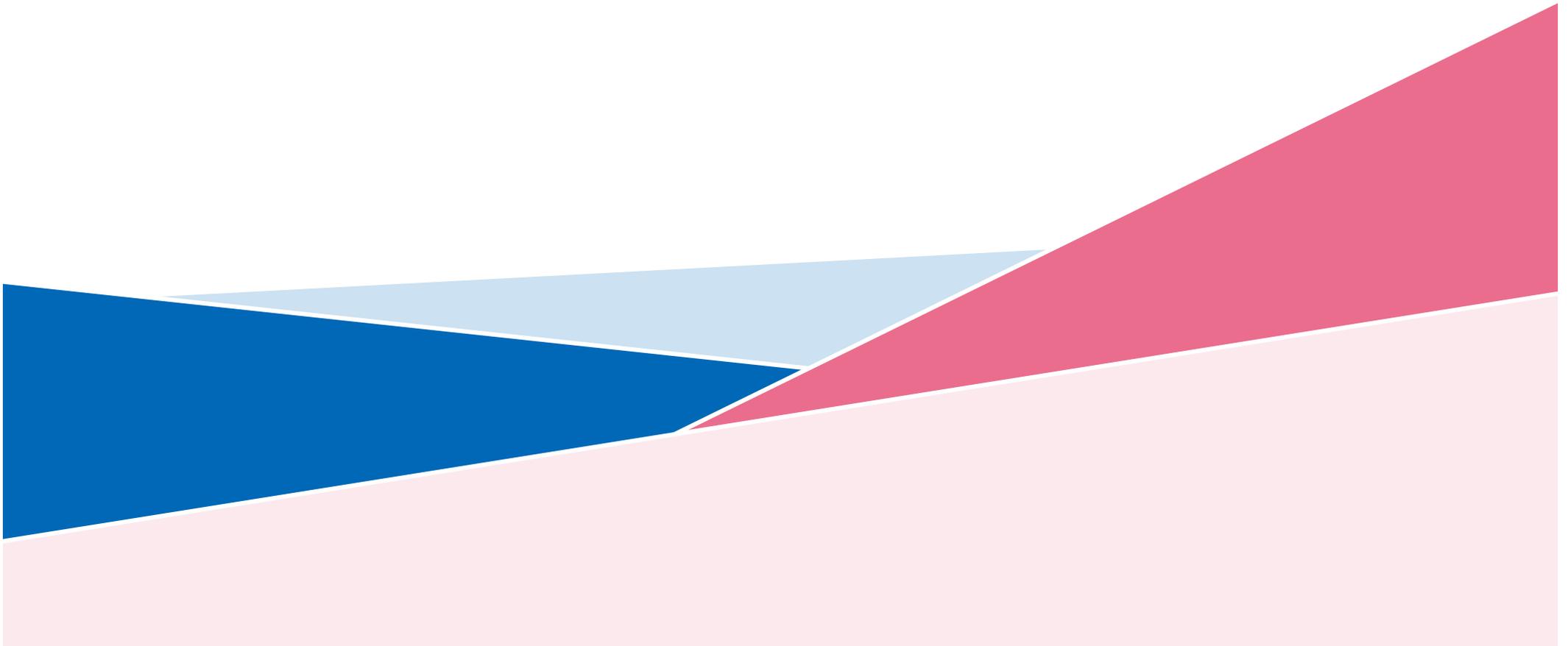
(単位：百万円)



I. 事業の概要

II. 2024年3月期 実績

III. 2025年3月期 計画（含中計）



Ⅲ. 2025年3月期 計画（含中計）

新中期経営計画“NEXT 300 Neo”を策定いたしました。

- 医療現場のニーズを反映した製品を提供し、着実なビジネス拡大に取り組んでまいります。

経営理念

医療機器メーカーとして、医療を通じて社会に貢献し、共感いただける企業を目指します。

ビジョン

「信頼と共感」を世界の医療従事者の方々から獲得すべく安全性・有効性に優れた日本発の医療機器を普及させます。

行動指針

「創造・迅速・確実」をモットーに、高品質の製品・サービスを提供し、日々進歩する医療現場のために有益な提案を実行いたします。

Ⅲ. 2025年3月期 計画（含中計）

新中期経営計画“NEXT 300 Neo”に関して

＜事業戦略＞

メディキットは、医療機器メーカーとして安全性をすべての土台としつつ、売上高および収益性の向上に取り組んでまいります。

1

インターベンションを中心に自社製品の開発を進めると共に、戦略的な取り組み等を通じ、付加価値の高い製品の提供に努めます。

2

海外展開は、欧米市場および中国市場を中心に、従来以上に販売を強化します。

3

生産においては効率性を更に高め、原価の低減に取り組みます。

新製品の
開発

成長性、収益性

- ・ 高付加価値品に注力
(インターベンションなど)
- ・ 海外事業の強化
(欧米および中国市場での販売強化)
- ・ 生産性の更なる向上
(生産効率の向上、グループ連携強化など)

生産力の
強化

安全性（すべての土台）

Ⅲ. 2025年3月期 計画（含中計）

新中期経営計画“NEXT 300 Neo”に関して

売上高

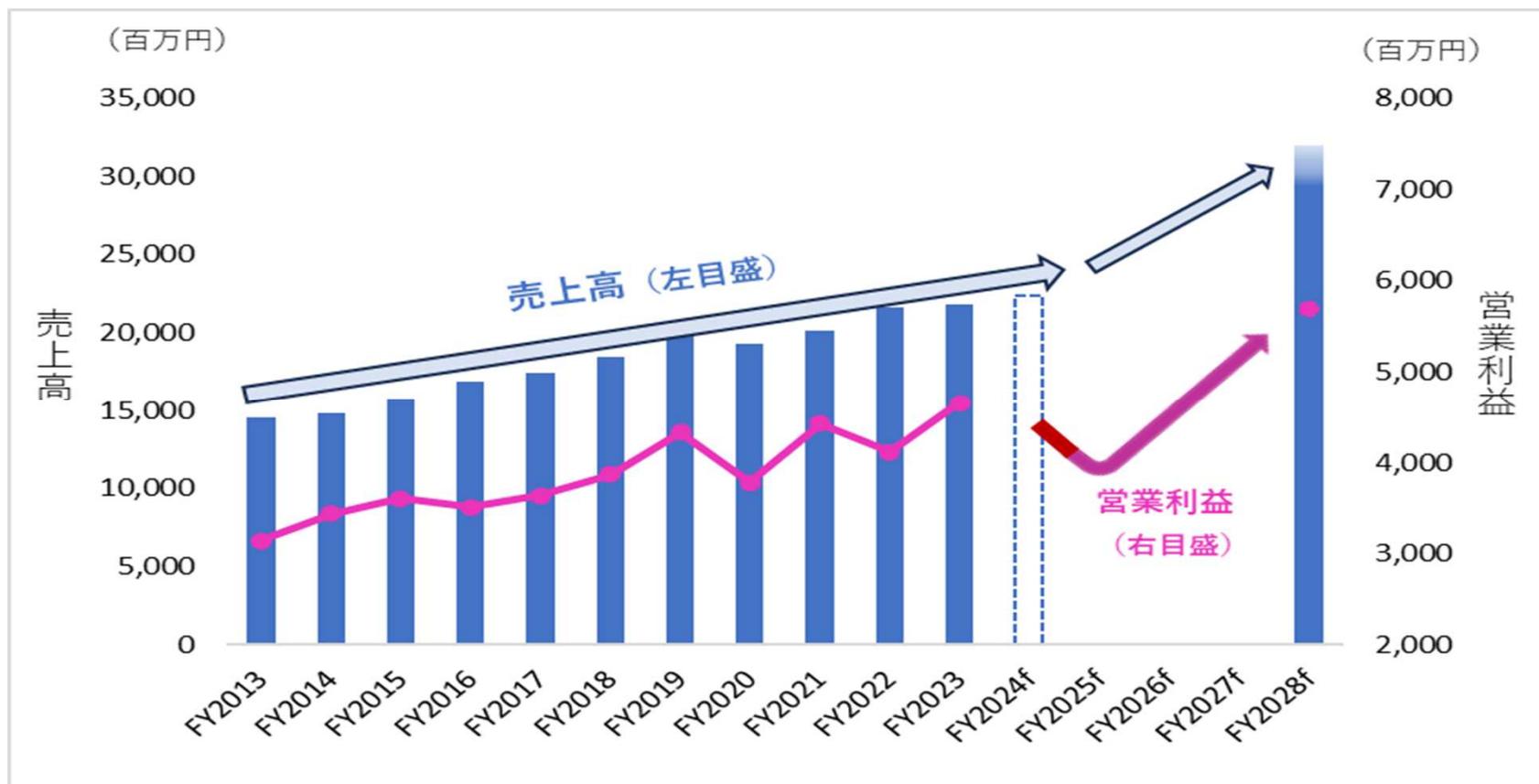
290～320億円

売上高成長率

CAGR 5.5-8.5%

営業利益率

18%程度



Ⅲ. 2025年3月期 計画（含中計）

全社共通の課題と方針

国内販売価格は償還価格改定による価格低下

- 販売会社：国内では競争激化により販売価格の低下傾向 ⇒ 高付加価値製品の拡販
海外でのニーズの発掘、現地化の推進（欧州現地法人）
- 製造会社：原価低減と生産効率の向上
原材料価格の高騰懸念

■ 人工透析類

- 国内：安全針の需要増加への対応
- 海外：欧州等で安全針化が進む ⇒ 安全針の販売を強化

■ 静脈留置針類

- 国内：「スーパーキャス7」のパッシブ市場開拓 ⇒ シェア拡大の取り組み継続
- 海外：米国市場での取り組み強化

■ インターベンション類

- 国内：高付加価値製品の販売強化、（株）Bolt Medical事業の新製品上市
- 海外：既存顧客維持への安定供給、新規顧客獲得努力継続

■ その他

- サステナビリティの取り組み

Ⅲ. 2025年3月期計画 ハイライト

- 売上高について、人工透析類および静脈留置針の安定供給、およびインターベンションの拡販により2.4%の成長を目指す。海外においても、当社インターベンション製品の販売体制変更⁽¹⁾がありつつも、当社製品の認知高まりを受け堅調な推移を計画
- 利益について、原材料価格や輸送コスト上昇による原価率低下、および増産対応の設備投資による減価償却負担増の影響もあり、今期については一時的な利益下振れを想定
- 配当について10円増配の90円/株を計画。配当性向は48.5%（前期42.6%）

売上高 <small>(百万円)</small> 22,385 前年比 +2.4%	海外売上高 <small>(百万円)</small> 3,368 前年比 +5.3%	EBITDA⁽²⁾ <small>(百万円)</small> 6,026 前年比 ▲3.1%
営業利益 <small>(百万円)</small> 4,162 前年比 ▲11.0%	一株当たり配当金 90円 <small>(前年比10円増配)</small> 配当性向 48.5%	

(1) 当社は、当社製品シースイントロドューサーの販売にかかるボストン・サイエンティフィック社との販売契約を2024年3月末に終了。

(2) 営業利益+減価償却費+のれん償却費

Ⅲ. 2025年3月期計画 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

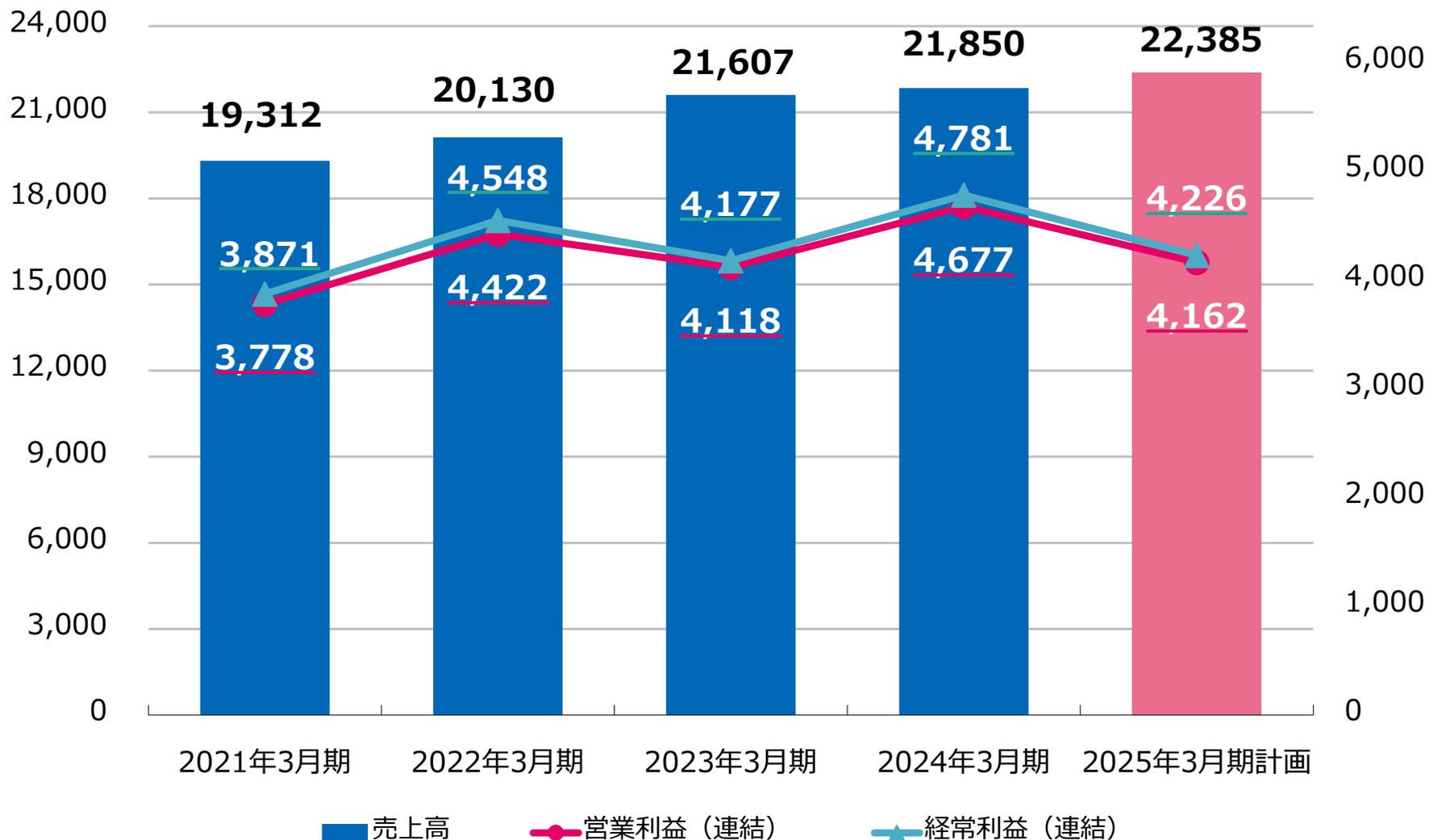
	2024年3月期 (実績)		2025年3月期計画			
	金額	構成比	金額	構成比	伸額	前年比
売上高	21,850	100.0	22,385	100.0	+535	+2.4%
売上原価	13,097	59.9	13,817	61.7	+719	+5.5%
売上総利益	8,752	40.1	8,568	38.3	▲184	▲2.1%
販売管理費	4,074	18.6	4,406	19.7	+331	+8.1%
のれん償却前営業利益	4,908	22.5	4,397	19.6	▲510	▲10.4
営業利益	4,677	21.4	4,162	18.6	▲515	▲11.0
経常利益	4,781	21.9	4,226	18.9	▲555	▲11.6
当期純利益	3,069	14.0	2,745	12.3	▲324	▲10.6



Ⅱ. 2025年3月期計画

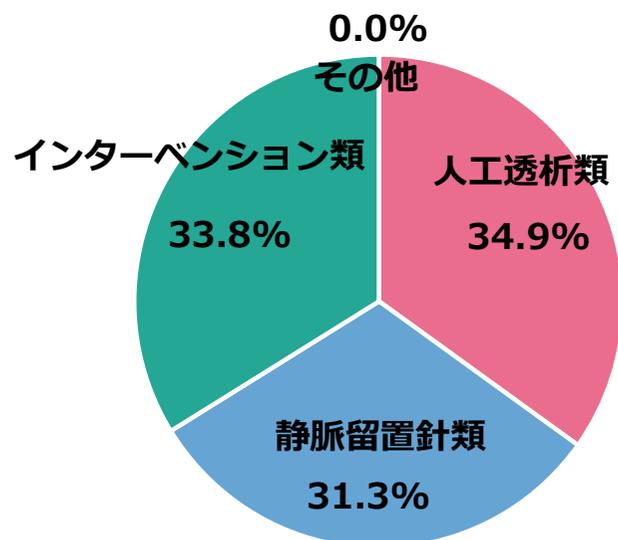
売上高（百万円）

営業・経常利益（百万円）

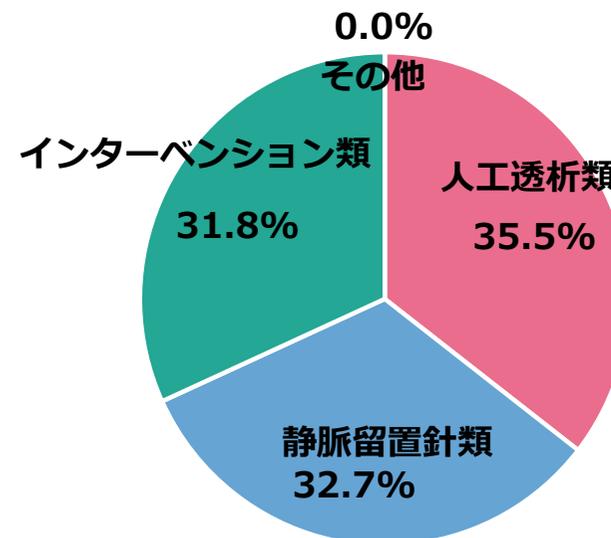


Ⅲ. 2025年3月期計画 売上構成

2024年3月期 売上構成



2025年3月期計画 売上構成

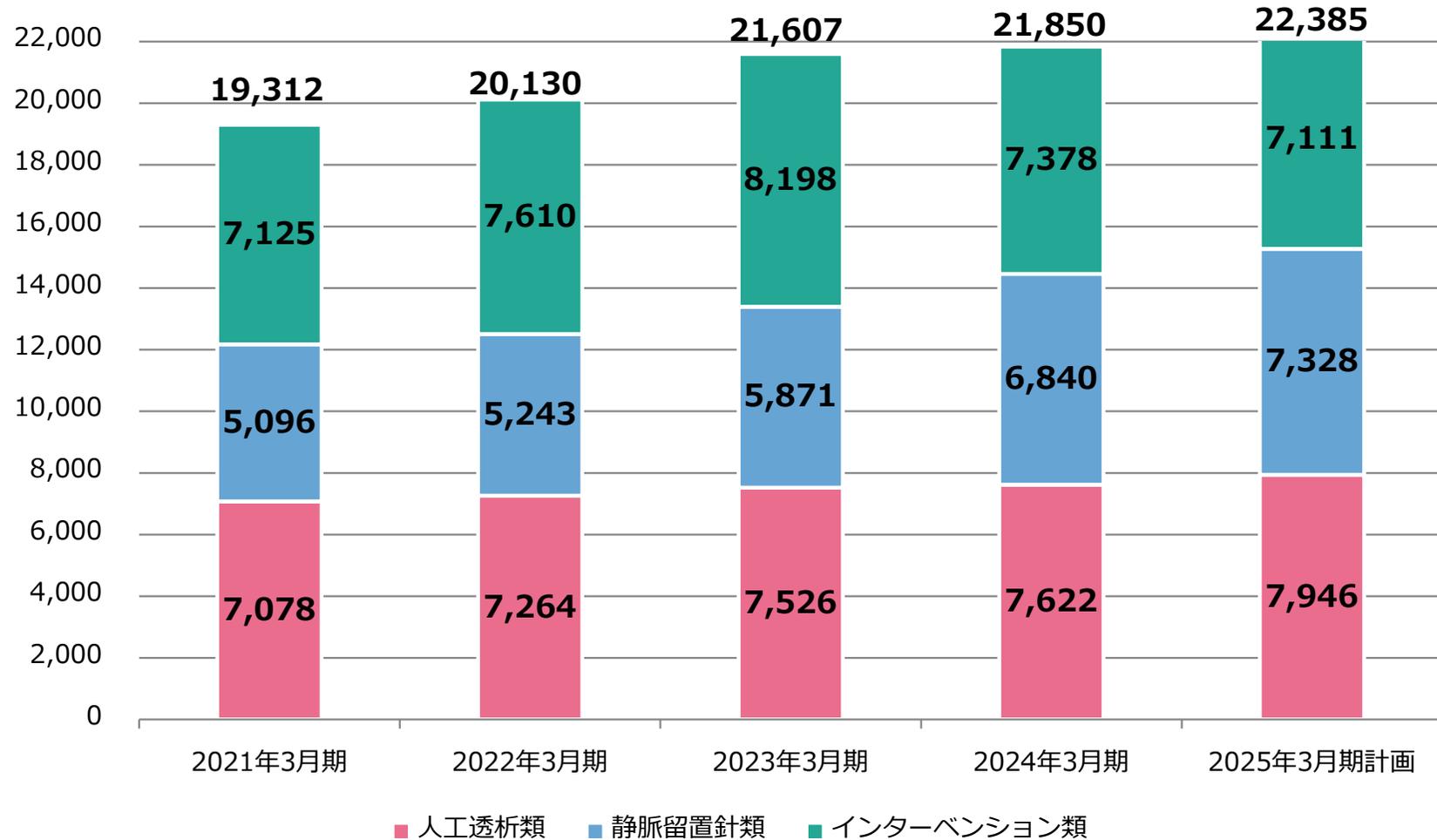


(単位：百万円、%)

品目区分	2024年3月期	2025年3月期計画	増減率
■ 人工透析類	7,622	7,946	+4.3
■ 静脈留置針類	6,840	7,328	+7.1
■ インターベンション類	7,378	7,111	▲3.6
■ その他	9	-	-

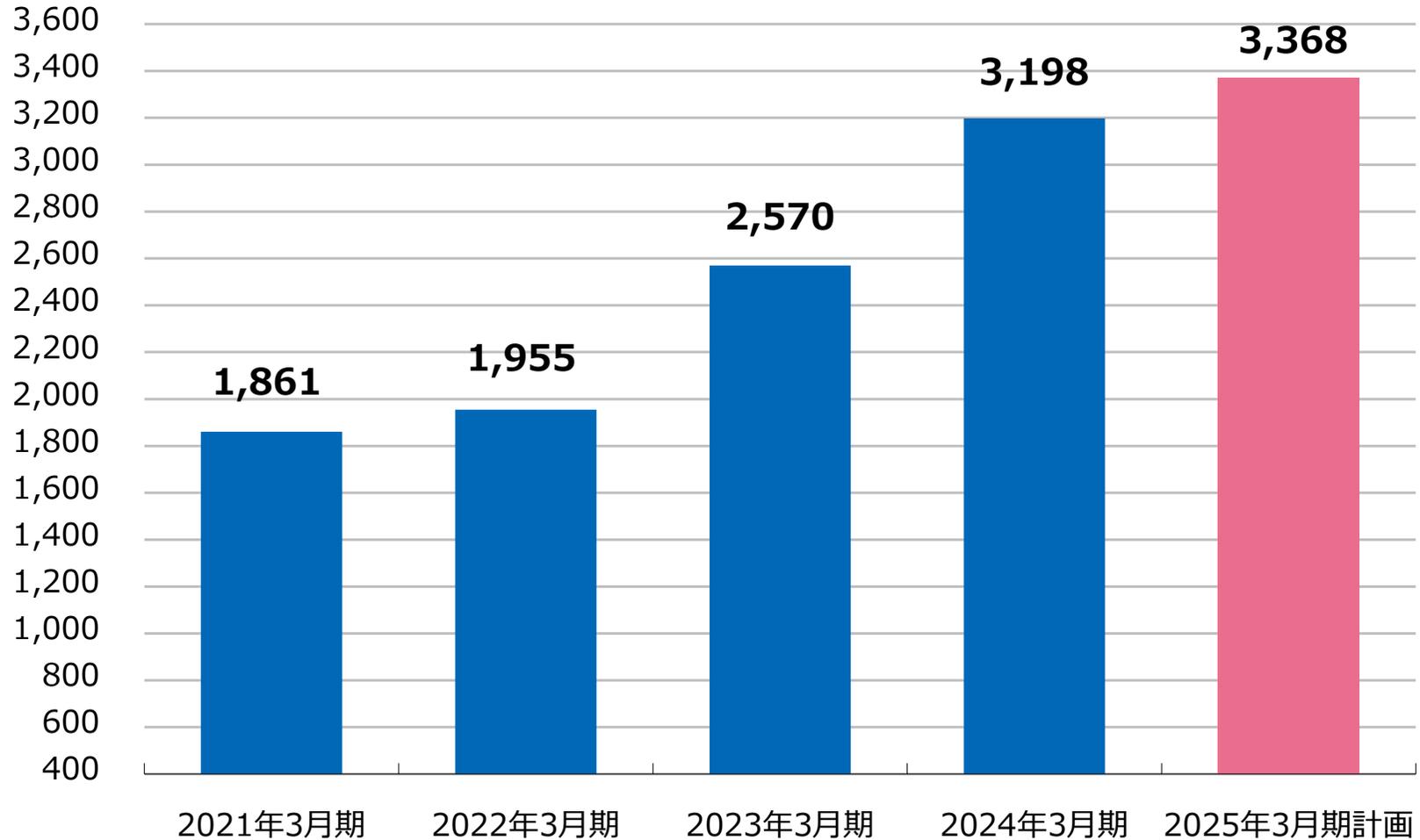
Ⅲ. 2025年3月期計画 品目別売上推移

(単位：百万円)



Ⅲ. 2025年3月期計画 海外売上の推移

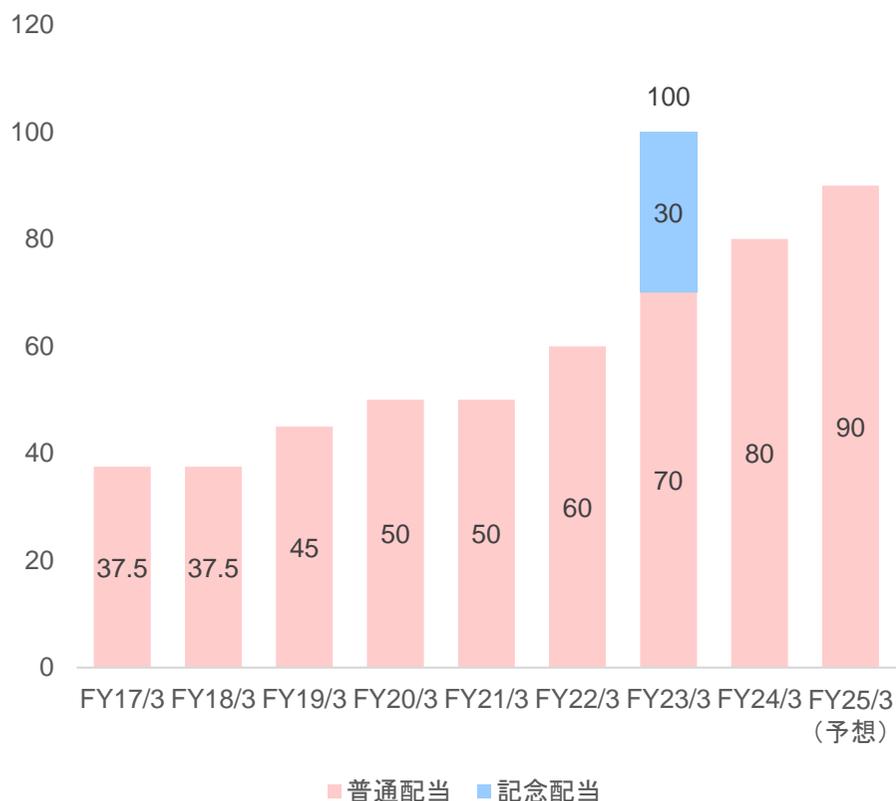
売上高（百万円）



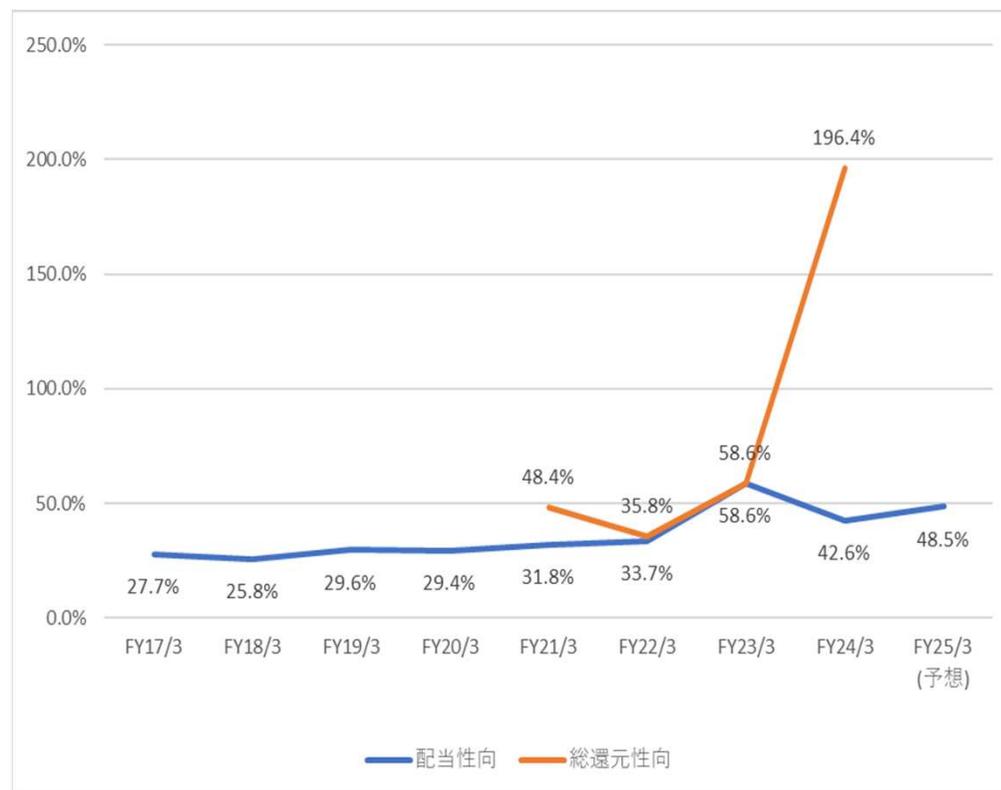
Ⅲ. 配当予想（株主還元）

- 当社はこれまで、中期経営計画“NEXT 300”において計画の通り、配当性向を着実に向上してまいりました。またFY24/3においては、総額4,776百万円（発行済株式数の10.59%）の自己株式取得を実施しました。
- FY25/3においても増配を予定しており、自社株買いについても、市場の状況を勘案しつつ実施を検討してまいります。

一株当たり配当金(円)



配当性向・総還元性向





メディキット株式会社

ご清聴ありがとうございました。

問い合わせ先：総務部

E-mail: ir@medikit.co.jp